キャラクター名
宗道　世理花（そうどう　せりか）

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス オルクス	ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	16歳	性別	女
覚醒	探求	衝動	闘争	初期侵食率	43 %
出自	心の色：黒	経験	モチーフ童話：ウサギとカメ	邂逅	衣装：修道服

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	0	0			1
感覚	2	0	0			2
精神	3	1	0			4
社会	2	0	0			2

HP	26
行動値	8
(非装備時)	8
戦闘移動	13
全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	6		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：魔法	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
〈摂理砲い越して、その道の先へ（クアンタム・ゼノン・エフェクト）〉	ＲＣ	7r+6	-	-		C値8・命中で対象ダメージ+6D　1+2
〃（100%↑）	ＲＣ	10r+6	-	-		C値7・命中で対象ダメージ+7D　1+2

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
おもちゃの拳銃（フォールンサラマンダー）	
ジュウジの懐中時計（ストレンジフェイズ）	
コネ：噂好きの友人	
コネ：魔法（コネ：UGN幹部）	
携帯電話	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
＜秘密兵器＞	P　-	N　-		
〝妹〟宗道　唯鈴	P　慈愛	N　不安		
〝妹〟宗道　自由	P　庇護	N　悔悟		
〝超イケてる魔女〟ブラック・マリーゴールド	P　好奇心	N　猜疑心		
〃	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	6	残り財産P：	4

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
コンセントレイト：ウロボロス	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：C値-Lv（下限値7）								
原初の赤：死神の瞳	4	4	メジャー	視界	単体	対決	-	
効果：射撃攻撃を行う・命中で対象次ダメージ+[Lv+2]D								
原初の紫：凍てつく刃	1	4	オート	視界	単体	自動	-	
効果：自身以外DR直前に宣言・ダメージを1D+[Lv×3]する・1R1回								
原初の白：力の霊水	3	6	オート	視界	単体	自動	80%	
効果：自身以外DR直前に宣言・ダメージを+[Lv]Dする・1R1回								
妖精の手	2	4	オート	視界	単体	自動	-	
効果：判定ダイスの出目一つを10に変更・1シナリオLv回								
力の法則	3	4	オート	視界	単体	自動	100%	
効果：自身以外DR直前に宣言・ダメージを+[Lv+1]Dする・1R1回								
イージーフェイカー：写真記憶	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：目にしたものを完全に覚える・＜知覚＞								
仕組まれた幸運	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：ごく限定的な幸運を引き寄せる								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

レギュレーション：基本・上級・EA・LM・HR（特殊ステージ専用）

月虹町に住む至って普通の女子高生。長い黒髪の凛とした外見とは裏腹に自由人できまぐれ。
町の教会に通っており、三人姉妹の長女である。

性格は全体的にだらしのない自由人。一度手本を見れば大体の事が出来てしまう天才肌。
二度寝・昼寝のグータラは日常茶飯事。これらのギャップのせいで付き合った男子から既に四回ほど振られており、本人は「男たちは見る目が無い！」と憤慨している。
ただ、三人姉妹の長女だけあって面倒見や包容力はそこそこあるが、肝心のそれらは気まぐれでしか振るわれない為家族以外そういった一面を知る者は少ない。

魔法は『矛盾の許容』。一見するとありえない事実を許容する。おもちゃの拳銃は引鉄さえ引ければ実弾が飛び出し、カメはウサギどころか英雄すら追い越してしまう。
ただ、許容範囲には限界がある上、性質上自由度も高くない。

妹の事故の一件で何も出来る事が無いと途方に暮れていた時、通っていた教会のシスターが相談に乗ってくれた。
どうにも他人と溝を感じていた彼女にとっては、それはまさに救いの手だった。
いつか妹たちや、他の誰かに、そのシスターのように誰かを救える存在になりたいと無意識に願っている。

PC ロイス：　P：/N：
カヴァー/ワークス：/